

科目No.	556	科目名	コミュニケーション学特論8		サブネーム	健康危機管理と科学的エビデンス		
連携機関名	東京都健康安全研究センター	レベル	基礎		講義枠	月曜日	講義時間	18:30~20:00
科目概要(300字)	東京都健康安全研究センターでは、試験検査及び調査研究を通じて、感染症、食品医薬品、化学物質等に関する様々な健康リスクの評価を行い、東京都の実施する健康危機管理対策に科学的なエビデンス(根拠)を提供している。本講座では、現代社会における健康リスクと地方自治体における健康危機管理のための試験研究事業の現状を概説すると共に、市民の方々と今後の健康危機管理の在り方についてリスク・コミュニケーションを図りたい。							

サブタイトル	No.	講義名	講義概要	講義日	教室	講師名	所属
総論	1	健康危機管理総論	健康危機管理の基本的考え方、地方自治体の対策の概要、その科学的技術的拠点としての地方衛生研究所の役割について概説する。	10月1日	共通講義棟 1号館 204	前田秀雄	東京都健康安全研究センター 所長
	2	健康リスク評価・管理	健康危機管理を科学的エビデンスに裏付けされたものとして行うための、リスク評価・管理の基本的な概念と手法について概説する。	10月15日		中江 大	東京都健康安全研究センター 参事 研究員
食品安全性管理	3	食品添加物等に関わる食品衛生上の諸問題と行政検査	食品添加物等に関わる地方自治体の衛生監視・検査体制の概略と、これまでの食品衛生上の諸問題を食品添加物を中心に解説する。さらに、行政検査として行われている食品添加物検査等の実際について紹介する。	10月22日		石川ふさ子	東京都健康安全研究センター 食品化学部 食品添加物 研究科
	4	食品中のダイオキシン類	食品からのダイオキシン類摂取量調査について解説するとともに、安全で安心できる食生活のポイントや将来的課題について紹介する。	10月29日		笹本剛生	東京都健康安全研究センター 食品化学部 残留物質 研究科
	5	都の食品衛生に係る取り組みと組織執行体制について	食品流通の広域化・国際化により都内には多種多様な食品が流通しているほか、東京は食の大消費地でもある。このような食品の安全安心を確保するため、都ではどのような取り組みをしているか、また、組織執行体制はどのようなになっているかなどについて紹介する。	11月5日		古田賢二	東京都健康安全研究センター 広域監視部 食品監視指導課
医薬品(薬品)と医療機器の安全管理	6	無承認無許可医薬品(健康食品)による健康被害の未然防止	健康食品の中には違法に医薬品成分が添加された無承認無許可医薬品があり、健康被害を引き起こすことも多い。そこで、健康食品を取り巻く状況や違反状況、健康被害の事例等を紹介し、当センターで実施している無承認無許可医薬品発見のための取り組み、検査方法や分析手法についてお話しする。	11月12日		守安貴子	東京都健康安全研究センター 医薬品部 医薬品 研究科
	7	「違法ドラッグ」による健康被害の未然防止	都では、「東京都薬物の濫用防止に関する条例」を制定し、都内に流通するいわゆる「脱法ドラッグ」への規制を強化した。当講義では、様々な形態(錠剤、液剤等)で販売されている違法ドラッグやその服用者の生体試料(尿等)について、各種機器分析を用いて成分を明らかにする過程を説明する。	11月19日		鈴木 仁	東京都健康安全研究センター 医薬品部 医薬品 研究科
	8	医薬品・医療機器の品質管理と安全性情報管理に対する薬事監視指導	薬事法改正における人体へのリスクに応じた安全対策、ジェネリック医薬品の扱い等を含め、GMP、QMSを主にした製造工場での品質管理から市場への流通さらに医療現場等での適正使用までの各段階における東京都の薬事監視指導の取り組みについて紹介する。	11月26日		野口 俊久	東京都健康安全研究センター 広域監視部 薬事監視指導課
感染症健康危機管理	9	感染症危機管理を支える試験研究	Evidence-basedな感染症対策の基盤となる感染症発生動向の疫学的な調査分析と微生物学的試験検査の現状と今後の方向性について新型インフルエンザ対策等を中心に概説する。	12月3日		阿保 満	東京都健康安全研究センター 疫学情報室
	10	東京の衛生害虫の今	ハエ・カ等の衛生害虫は、わが国の衛生状態が改善するにつれ、身近からほとんど消滅したと思われていた。しかし、近年多くの場所で復活しつつあり、それらによる被害が増加している。また国際化にともない、海外から新たな感染症媒介種が持ち込まれるリスクも増大している。東京における衛生害虫の現状を紹介し、その対応策を示す。	12月10日		大野正彦	東京都健康安全研究センター 環境保健部 環境衛生 研究科
	11	水系感染症一現在・過去・未来一	塩素消毒の効かないクリプトスポリジウムや、24時間風呂、そして温泉等で犠牲者を出したレジオネラなど、この10数年で問題となってきた水系感染性病原微生物について解説し、その対策や現状、将来の展望について紹介する。	12月17日		猪又明子	東京都健康安全研究センター 環境保健部 水質 研究科
化学物質の安全性評価	12	室内空気中化学物質の現状とシックハウス対策後の問題点	室内空気中の化学物質による健康障害、いわゆるシックハウス症候群への対策として国は室内濃度指針値を設け、建築基準法の改正を行った。しかし当センターへのシックハウスに関する相談は跡を絶たない。住宅等の調査結果、健康被害事例を踏まえ、室内空気中化学物質の現状と問題点について解説する。	1月7日		斎藤育江	東京都健康安全研究センター 環境保健部 環境衛生 研究科
	13	化学物質の毒性試験と安全性の評価	我々の生活環境中には様々な化学物質が関与している。化学物質を安心して使用するために、その安全性を評価する毒性試験がどのように行われているか、そして安全性をどのように評価しているかについて、防カビ剤OPPやTBZ等、いくつかの毒性試験を紹介しながら解説する。	1月21日		小縣昭夫	東京都健康安全研究センター 環境保健部 生体影響 研究科
	14	化粧品・家庭用品の安全性	身近な化学物質である化粧品・家庭用品の安全性確保のために化粧品基準・家庭用品規制法等の法律が定められている。法律の内容と、それに沿って当所が行った試験検査について紹介する。また、医薬品成分含有化粧品や鉛含有アクセサリなど、健康被害を招きかねない最近の事例と行政の対応を紹介する。	1月28日		大貫奈穂美	東京都健康安全研究センター 医薬品部 微量分析 研究科
まとめ	15	総合討論	本科目のまとめとして、科学的エビデンスに基いた健康危機管理に関する今後の展望について、聴講者からのコメントや疑問をいただきながら、総合的な討論を行う。	2月4日		中江 大	東京都健康安全研究センター 参事 研究員